

## 統一的な基準による財務書類(概要)

※平成29年度末状況

### 1 貸借対照表

(単位:百万円)

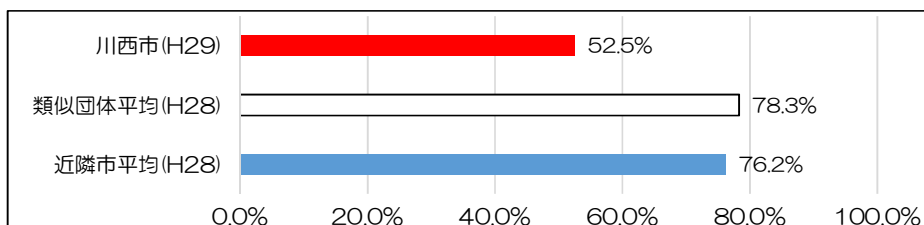
科目		一般会計等	科目	一般会計等
資産の部	固定資産	166,603	負債の部	80,423
	流動資産	2,761	純資産の部	88,941
	合計	169,364	負債及び純資産合計	169,364

#### ①主な対前年度増減要素

(単位:百万円)

科目	前年度増減	要因
固定資産	7,368	土地 +3,046(病院用地の取得) 建物 +1,934(学校空調等) 道路等 △836(減価償却)
流動資産	△ 1,179	棚卸資産 △1,482 (病院用地となる保留地を用地特会へ売却 ⇒固定資産の土地増)
負債	6,209	地方債 +5,857 PFI割賦払い・リース債務 +577
純資産	△ 20	

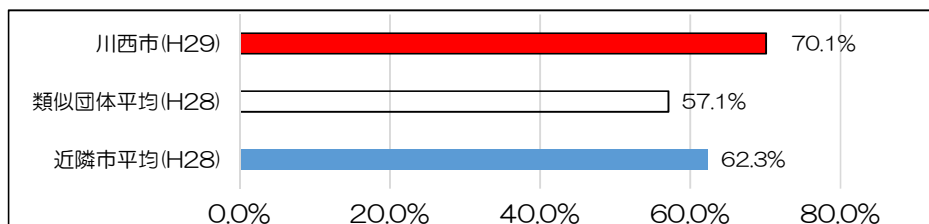
#### ②資産に対するこれまで世代の負担状況(一般会計等)～純資産比率～



##### 【解説】

- ・これまでの世代の負担(純資産比率)は52.5%(前年度比△2ポイント)
- ・近年の公共施設の更新(耐震化・複合化)に伴う市債借入れによって低下するとともに、類似団体及び近隣市と比べてこれまでの世代の負担割合が低い(将来世代の負担割合が高い)。

#### ③有形固定資産の状況(一般会計等)～有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)～



##### 【解説】

- ・老朽化度(有形固定資産減価償却率)は70.1%(前年度と同じ)
- ・類似団体及び近隣市と比べて老朽化が進んでいる。
- ・老朽化した公共施設の更新(複合化)により今後は低下する見込み

## 2 行政コスト計算書

(単位：百万円)

科目	一般会計等
経常費用…ア	45,550
経常収益…イ	1,976
純経常行政コスト(イ-ア)…ウ	△ 43,574
臨時損失…エ	105
臨時利益…オ	111
純行政コスト(ウ-エ+オ)	△ 43,568

### 【一般会計等解説】

- ・行政コストは435.7億円で前年度と比べて1億円減少した。
- ・住民一人当たりの行政コストは27万4千円で前年度と比べて5千円減少した。

## 3 純資産変動計算書

(単位：百万円)

科目	一般会計等
前年度末純資産残高…ア	88,961
純行政コスト(△)	△ 43,568
財源	43,443
本年度純資産変動額…イ	△ 19
本年度末純資産残高(ア+イ)	88,941

### 【一般会計等解説】

- ・財源を上回るコストがかかっており、資産を取り崩して補てんしているため、純資産は前年度と比べて0.2億円減少した。

## 4 資金収支計算書

(単位：百万円)

科目	一般会計等
業務活動収支…ア	502
投資活動収支…イ	△ 5,672
財務活動収支…ウ	5,269
本年度資金収支(ア+イ+ウ)…エ	99
前年度末資金残高…オ	401
本年度末資金残高(エ+オ)…カ	500
本年度末歳計外現金残高…キ	59
本年度末現金預金残高(カ+キ)	559

### 【一般会計等解説】

- ・29年度の資金収支はプラスであり、本年度末現金預金残高は前年度と比べて0.9億円増加した。